

7 イチモンジタナゴ (コイ科)

Acheilognathus cyanostigma

兵庫県ランク:要調査

環境省ランク:CR

種の概要

全長は6cm程度。西日本に生息するタナゴ類の中では最も体高が低く、細長い体型を持つ。流れが緩やかな河川中・下流域、それに続く用水路に生息する。附着藻類に偏った雑食性。産卵期は春から初夏で、ドブガイなどの二枚貝の鰓に卵を産み付ける。日本固有種で濃尾平野から兵庫県までの限られた地域に分布する。



写真提供: 兵庫県立人と自然の博物館(撮影: 増田 修)

県内における生息状況及びその他特記事項

県内では日本海側の円山川水系、瀬戸内海側の千種川、揖保川、大津茂川、夢前川、市川、加古川水系などの下流域で確認されている。

保護上の留意点

本県のイチモンジタナゴについては琵琶湖のコアユの放流に付随した国内移入種の可能性が指摘されていたが、近年、ミトコンドリアDNAを用いた遺伝的な解析により、加古川水系から「琵琶湖・淀川水系」とは異なる「由良川・加古川水系」個体群の存在が確認された (Kitazima et al., 2015)。一方で、加古川、円山川からは「琵琶湖・淀川水系」のハプロタイプも確認されており、人為移入の結果だと考えられる。県内の他水系に生息するものが自然分布かどうかは現時点で不明である。

県内分布

神戸市、尼崎市、加古川市、西脇市、小野市、加西市、加東市、姫路市、赤穂市、たつの市、太子町、上郡町、豊岡市、養父市

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

主要な選定理由

人為性	激減	
	環境	○
	捕獲	○
特殊性	特殊	○
	孤立	
学術性	極限	
	限界	△
	希少	

